

第44回土木学会地震工学研究発表会（2024年度）

9月10日（火）

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
8:45	Zoom会議室オープン			
09:00-09:05	開会式（酒井久和 地震工学委員会委員長 挨拶）@A会場			
09:10-11:45	<p><基調講演> [60分] 宮島昌克（金沢大学 名誉教授） 「令和6年能登半島地震災害の教訓を考える」</p> <p>A12 <能登半島地震：地震動> [85分] 小野祐輔（鳥取大） @A会場</p>			
	昼休み			
13:15-14:40	A13 <能登半島地震：道路・橋梁> 石川敬祐（東京電機大）	B13 <地震応答解析> 武田篤史（大林組）	C13 <液状化・土の力学> 加藤一紀（大林組）	D13 <ライフライン防災， 災害情報①> 一井康二（関西大）
14:55-16:20	A14 <能登半島地震：港湾・液状化・地盤変状> 志賀正崇（長岡技科大）	B14 <構造部材実験と応答①> 張広鋒（首都高速道路技術センター）	C14 <液状化・地盤と構造物> 三上武子（GRI財団）	D14 <災害情報②，防災計画> 後藤浩之（京大）
16:35-18:00	A15 <能登半島地震：ライフライン> 西川隼人（福井工大）	B15 <構造部材実験と応答②> 佐藤京（寒地土木研究所）	C15 <盛土・斜面> 西岡英俊（中央大）	D15 <震源特性・地震動特性・ 地震動評価> 香川敬生（鳥取大）
18:30-20:30	意見交換会 @ しいのき迎賓館			

9月11日（水）

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
8:45	Zoom会議室オープン			
09:00-10:25	A21 <各種構造物の地震時挙動> 服部匡洋（阪神高速先進技術研）	B21 <鋼構造と地震時応答①> 千田知弘（東北学院大）	C21 <擁壁・土留め> 野本将太（東日本旅客鉄道）	D21 <物理探査・地震強度指標> 野口竜也（鳥取大）
10:40-12:05	A22 <流体振動，流体対策，ダンパー> 五十嵐晃（京大）	B22 <鋼構造と地震時応答②> 葛漢彬（名城大）	C22 <地中構造物> 石丸真（電力中央研究所）	D22 <地盤震動・増幅特性> 久世益光（岐阜大）
	昼休み			
13:15-14:40	A23 <構造解析> 党紀（埼玉大）	B23 <IoT, AI, 損傷制御> 篠原聖二（阪神高速道路）	C23 <実験技術・解析技術> 大矢陽介（港湾空港技術研究所）	D23 <地震動・計測・観測・ 解析> 栗田哲史（東電設計）
14:55-16:20	A24 <能登半島地震：被害一般と その他の地震> 竿本英貴（産総研）	B24 <耐震補強および橋梁設計> 大越靖広（熊谷組）		D24 <津波防災> 郷近英臣（北陸先端科学技術大学院大学）
16:25-16:30	閉会式（庄司学 地震工学論文編集小委員会委員長 挨拶）@ A会場			

第44回地震工学研究発表会プログラム (A会場)

9月10日(火)

10:20-11:45 A12 <能登半島地震：地震動>		座長：小野祐輔（鳥取大）
A12- 292	2024年能登半島地震の液状化波形の分析速報	鈴木崇伸（東洋大学）
A12- 321	2024年能登半島地震における最大地動分布の推定	末富岩雄（エイト日本技術開発）
A12- 350	令和6年能登半島地震で観測された鉛直アレー記録における地盤の液状化の影響	石井洋輔（国土技術政策総合研究所）
A12- 375	令和6年能登半島地震の被害地域－珠洲市・能登町・七尾市・輪島市・内灘町－における微動観測	野口竜也（鳥取大学）
A12- 392	継続時間スペクトルによる2024年能登半島地震の強震動特性の分析	能島暢呂（岐阜大学）
A12- 393	構造物へのエネルギー入力に着目した2024年能登半島地震の強震動特性の分析	久世益充（岐阜大学）

13:15-14:40 A13 <能登半島地震：道路・橋梁>		座長：石川敬祐（東京電機大）
A13- 268	不可視領域を含む点群データを用いた路面段差被害推定方法の検討	黒川秀哉（九州大学大学院）
A13- 304	能登半島地震における橋梁等構造物被害調査におけるUAVと紐カメラの活用	水野千里（埼玉大学）
A13- 323	令和6年能登半島地震における斜角橋梁の落橋被害について	山栗祐樹（中央大学）
A13- 330	令和6年能登半島地震津波の浸水域に曝露された道路交通インフラの被害	喜古亜佑美（筑波大学）
A13- 342	令和6年能登半島地震による道路交通インフラのレジリエンスアナリシス	相良翔（筑波大学）
A13- 361	令和6年能登半島地震における上路式アーチ橋に対するLiDAR計測及び被害分析	徳江良（大日本ダイヤコンサルタント）

14:55-16:20 A14 <能登半島地震：港湾・液状化・地盤変状>		座長：志賀正崇（長岡技科大）
A14- 298	令和6年能登半島地震で被災した矢板式岸壁の暫定供用に向けた残存耐力評価事例	柴田大介（日本港湾コンサルタント）
A14- 313	令和6年能登半島地震による内灘砂丘沿いの液状化による地盤流動被害の特徴	石川敬祐（東京電機大学）
A14- 341	令和6年能登半島地震の液状化で生じた噴砂の諸特性	齋藤亮（清水建設）
A14- 357	能登半島地震における矢板式係船岸の被害と健全度評価	東宮真琴（新潟港湾空港技術調査事務所）
A14- 368	令和6年能登半島地震による地殻変動と漁港等の被害	三神厚（東海大学）
A14- 384	令和6年能登半島地震における陸域の地表変状に対する局所安全係数を用いた力学的考察	羽場一基（大成建設）

16:35-18:00 A15 <能登半島地震：ライフライン>		座長：西川隼人（福井工大）
A15- 243	2024年能登半島地震現地調査から得られたステンレス製矩形タンクのパルジング・スロッシング被害	平野廣和（中央大学）
A15- 281	2024年能登半島地震による下水道拠点施設に対するレジリエンスアナリシス	岡野莉子（筑波大学）
A15- 293	2024年能登半島地震における通信管路の被災分析	奥津大（日本電信電話）
A15- 300	令和6年能登半島地震における水管橋脱管事例と伸縮可撓継手の変位載荷実験	西勇也（日本ニューロン）
A15- 353	SUSパネル配水池の被害要因に関する水槽振動台実験	山下かのこ（神戸大学大学院）
A15- 360	新潟市の液状化による配水管被害－新潟地震と能登半島地震の対比－	尾高瑞季（神戸大学大学院）

9月11日(水)

9:00-10:25 A21 <各種構造物の地震時挙動>		座長：服部匡洋（阪神高速先進技術研）
A21- 247	単径間独立型水管橋の地震時橋台間相対変位について	松本大（管路防災研究所）
A21- 253	石橋の固有振動数と耐震性に及ぼす側方拘束条件の影響に関する研究	姜民九（京都大学大学院）
A21- 288	中層梁の履歴特性が二層ラーメン高架橋全体の地震時挙動へ与える影響に関する一考察	和田一範（鉄道総合技術研究所）
A21- 295	漸増動的解析に基づく橋梁上に設置されたテレビ支柱の共振影響評価	谷口惺（阪神高速先進技術研究所）
A21- 352	載荷履歴を受けた後のRC橋脚骨格曲線算定式を適用した地震応答実験	大越靖広（熊谷組）

10:40-12:05 A22 <流体振動，流体対策，ダンパー>		座長：五十嵐晃（京都大）
A22- 257	陸上構造物の津波対策のためのエアバッグ構造の開発	有賀義明（弘前大学大学院）
A22- 241	二槽式矩形タンクにおける仕切り板のパルジング特性の把握	平井秀（中央大学大学院）
A22- 296	数値流体解析による粘性ダンパーの減衰力評価	中里優河（東北大学大学院）
A22- 374	二槽式タンクにおける加振方向角を考慮したスロッシングの把握	藤田朋巳（中央大学大学院）
A22- 394	橋梁の地震と水害に対するマルチハザード対策に関する基礎的研究	長野健太（立命館大学大学院）

13:15-14:40 A23 <構造解析>		座長：党紀（埼玉大）
A23- 369	せん断変形作用時に積層ゴム製支承の接着層に生じる最大主応力に関する数値解析的検討	荒川弦太郎（東北学院大学大学院）
A23- 370	接着層に着目した90°剥離強さ試験と一面せん断試験時に生じる内部応力状態に関する数値解析的検討	千田知弘（東北学院大学）
A23- 386	せん断の影響に着目した地盤変動によるワーレントラス橋の損傷挙動と径間数との関係性に関する一考察	若槻直暉（東北学院大学大学院）
A23- 389	7N/mm載荷時の90°剥離強さ試験体と水平せん断ひずみ250%時の一面せん断試験体に生じる相当応力に関する一考察	渡邊浩佑（東北学院大学大学院）
A23- 289	ペローズ管の厳密な断面二次モーメント式の導出と扁平試験の再現解析	檜原新山（京都大学大学院）
A23- 372	せん断パネルが主塔の冗長性に与える効果に関する検討	八重垣諒太（阪神高速道路）

14:55-16:20 A24 <能登半島地震：被害一般とその他の地震>		座長：竿本英貴（産総研）
A23- 248	令和6年能登半島地震における石川県能登町の被害調査と避難所住民の支援－津波浸水高の推定，病院貯水槽の被害検証，及び自律型ロボットを用いた遠隔支援－	三崎貴弘（大分大学）
A23- 282	2024年1月1日に発生した能登半島地震による石川高専の被災状況	新保泰輝（石川工業高等専門学校）
A23- 376	2024年能登半島地震における木造建物の最大応答変形角と被害率の関係	西川隼人（福井工業大学）
A23- 395	2024年能登半島地震の津波による能登町白丸地区における建物被害調査	原田賢治（静岡大学）
A23- 402	新聞記事を用いた令和6年能登半島地震津波における住民の避難行動調査	久世真侑子（関西大学）
A23- 326	2024年台湾・花蓮地震における地震観測記録と橋梁の地震被害調査報告	井上和真（群馬工業高等専門学校）

第44回地震工学研究発表会プログラム (B会場)

9月10日(火)

13:15-14:40 B13 <地震応答解析>		座長：武田篤史 (大林組)
B13- 269	RIBSを用いた橋梁の地震応答解析モデルの妥当性検証と性能評価	何所昊 (東北大学大学院)
B13- 316	ロッキング基礎免震を適用した2基の橋脚を有する橋梁の地震応答特性	井上貴文 (阿南工業高等専門学校)
B13- 327	詳細有限要素モデルによる大規模構造物の地震時の浮上りを考慮した数値解析に関する基礎検討	寺本拓 (防衛大学校)
B13- 349	橋梁の径間長が地震応答の鈍感性に与える影響	益川敬行 (京都大学大学院)
B13- 358	既設上落式アーチ橋の制震デバイスの適用に関する解析検討	佐藤崇 (JFEエンジニアリング)
B13- 363	NUMERICAL ANALYSIS FOR METABOLIC METAL COLUMN SUBJECTED TO CYCLIC LOADING	Ziyi WANG (Kyoto University)
14:55-16:20 B14 <構造部材実験と応答その1>		座長：張広鋒 (首都高速道路技術センター)
B14- 347	実大動的加力試験機E-Isolationにおける反力梁振動特性の同定および荷重計測への適用	上田知弥 (京都大学大学院)
B14- 302	実大積層ゴム支承のせん断ひずみ300%の動的載荷試験結果と衝撃力	小林巧 (土木研究所)
B14- 333	大ひずみの繰返しせん断変形による実大道路橋用積層ゴム支承の特性の変化	浅子卓也 (土木研究所)
B14- 310	実規模積層ゴム支承の低温加振試験	佐藤京 (寒地土木研究所)
B14- 318	実験部材の事前情報を活用した 実時間ハイブリッド実験の荷重補償法	津田葉涼太 (京都大学大学院)
B14- 314	ロッカー橋脚の橋軸直角方向に対する耐震性能評価実験	植村佳大 (京都大学)
16:35-18:00 B15 <構造部材実験と応答その2>		座長：佐藤京 (寒地土木研究所)
B15- 387	大型振動台による球面すべり支承の地震時挙動確認実験及び再現解析	恩田駿秀 (八千代エンジニアリング)
B15- 396	静的解析と動的解析の違いが弾性支承を有する橋梁の応答推定にもたらす影響の一考察	谷口幸歳 (土木研究所)
B15- 373	令和6年能登半島地震で被災した橋梁用ゴム支承の損傷評価	後智貴 (立命館大学大学院)
B15- 356	免震橋モデルの動的データに基づく球面すべり支承の性能評価	草野大知 (東北大学大学院)
B15- 303	高耐久性すべり材を用いた球面すべり支承の振動台実験	山口愛華 (宇都宮大学大学院)
B15- 399	大型振動台実験による球面すべり支承の軸力変動に着目した基礎実験	谷本靖斗 (宇都宮大学大学院)

9月11日(水)

9:00-10:25 B21 <鋼構造と地震時応答その1>		座長：千田知弘 (東北学院大)
B21- 244	複合応力状態下におけるSS400材の延性破壊挙動に関する実験的研究	古川柊哉 (名城大学大学院)
B21- 286	切削補剛を施した落橋防止連結板の弾塑性挙動に関する実験的研究	近藤諒一 (名城大学大学院)
B21- 290	ブレース材の2方向初期横荷重の算定式	増田耀哉 (名城大学大学院)
B21- 308	切削加工を施したした落橋防止連結板の弾塑性挙動に関する解析的研究	杉浦侑佳 (オリエンタルコンサルタンツ)
B21- 320	単柱鋼製橋脚における地震応答解析の解析モデルの違いに対する比較検証	富健一 (長大)
B21- 365	長大橋と隣接する高架橋の地震時の桁衝突による影響検討	藤井遥 (阪神高速道路)
10:40-12:05 B22 <鋼構造と地震時応答その2>		座長：葛漢彬 (名城大)
B22- 334	鋼種の違いがフレットを有する鋼製ラーメン橋脚隅角部の弾塑性挙動に与える影響に関する実験的研究	大門大 (名古屋高速道路公社)
B22- 339	既設橋梁から採取したSM570の機械的性質の分析	山本一貴 (首都高速道路技術センター)
B22- 351	SUS323Lを用いた十字断面短柱の圧縮試験および再現解析	渡邊俊輔 (エム・エムブリッジ)
B22- 398	既設上落式鋼トラス橋におけるブレース材の塑性化が地震時挙動に及ぼす影響に関する解析的検討	中村真貴 (地震工学研究開発センター)
B22- 325	橋脚に適用する電気抵抗溶接鋼管のシャルピー吸収エネルギー	尾添仁志 (JFEシビル)
13:15-14:40 B23 <IoT, AI, 損傷制御>		座長：篠原聖二 (阪神高速道路)
B23- 245	機械学習を用いた構造物の応答塑性率に寄与する地震強度指標の特定	竿本英貴 (産業技術総合研究所)
B23- 263	耐力階層化橋脚モデルを用いた損傷シナリオ検証	寺澤貴裕 (寒地土木研究所)
B23- 277	RC部材の地震時損傷モニタリングに活用するためのIoTセンサによるひずみ計測に関する研究	小西優真 (立命館大学)
B23- 279	ラーメン構造を対象とした地震時回転挙動に関する基礎的検討	山下大輝 (鉄道総合技術研究所)
B23- 283	2層3径間RCラーメン高架橋を対象とした効果的な耐震補強箇所の検討	西村脩平 (東日本旅客鉄道)
B23- 337	振動実験データにオートエンコーダを適用した構造物の損傷検知の試み	三神厚 (東海大学)
14:55-16:20 B24 <耐震補強および橋梁設計>		座長：大越靖広 (熊谷組)
B24- 287	中空断面鉄筋コンクリート橋脚の中立軸位置に着目した限界状態の提案とその妥当性	中村光希 (京都大学大学院)
B24- 338	中空断面RC橋脚のエアモルタル充填及び基部巻立てによる耐震補強における炭素繊維巻立ての適用性	後藤源太 (高速道路総合技術研究所)
B24- 301	高弾性型炭素繊維シートによるRC橋脚段落し部の耐震補強に関する解析的研究	武田健太 (名古屋工業大学)
B24- 312	座屈拘束鉄筋を用いた壁式橋脚耐震補強構造の変形性能評価	武田篤史 (大林組)
B24- 366	デジタルツインを基幹とした橋の設計プロセスに関する一考察	篠原聖二 (阪神高速道路)
B24- 385	超過作用を含む地震動強度と免震橋の地震応答の関係に関する基礎的検討	松崎裕 (東京工業大学)

第44回地震工学研究発表会プログラム (C会場)

9月10日(火)

13:15-14:40	C13 <液状化・土の力学>	座長：加藤一紀 (大林組)
C13- 275	地震動の水平2方向同時入力に砂地盤の過剰間隙水圧比上昇に及ぼす影響の評価	浅見健斗 (京都大学大学院)
C13- 297	水平2方向地震作用を受ける飽和砂地盤の3次元動的有効応力に基づく再現解析	当山英俊 (クレアテック)
C13- 299	繰返し中空ねじり試験と繰返し三軸試験による砂の液状化強度	三上武子 (GRI財団)
C13- 371	破碎性土の単調せん断並びに繰返しせん断時における粒子破碎	杉原佳苗 (宇都宮大学)
C13- 378	液状化した地盤の流体特性に関する実験的検討	河原恵音 (神戸大学大学院)
C13- 388	巨大地震による砂地盤の定常化挙動に関する実験的検討	小野寺智哉 (鉄道総合技術研究所)

14:55-16:20	C14 <液状化・地盤と構造物>	座長：三上武子 (GRI財団)
C14- 379	振動台模型実験に基づいた丸太圧入工法による浅層改良工法の液状化対策効果	江孟源 (東京大学)
C14- 328	令和6年能登半島地震における液状化地盤が津波避難に及ぼす影響	中澤博志 (静岡理科大学)
C14- 328	残留沈下量を抑制した柱状体基礎の耐震設計手法に関する研究	忍田祥汰 (オリエンタル白石)
C14- 322	応答変位法における慣性力と地盤変位の組合せ係数に地盤・構造物の減衰が与える影響	田中仁規 (鉄道総合技術研究所)
C14- 348	既設高架橋と摩擦接合した増し杭補強の実構造物への適用性に関する解析的検討	野本将太 (東日本旅客鉄道)
C14- 390	載荷重による建設振動低減工法の検討	板木拳志朗 (関西大学)

16:35-18:00	C15 <盛土・斜面>	座長：西岡英俊 (中央大)
C15- 237	大型土のうに覆土を行った本復旧盛土の破壊機構把握のための振動台実験	竹川遊大 (鉄道総合技術研究所)
C15- 252	補強工配置と崩壊形態に着目した盛土の地震応答解析	桐山貴俊 (清水建設)
C15- 273	パルス性地震動が斜面崩壊に与える影響	小野祐輔 (鳥取大学)
C15- 362	異なる支持地盤条件における液状化時の盛土の沈下量に関する実験的検討	伊吹竜一 (鉄道総合技術研究所)
C15- 377	弱層を有する尾根型斜面の地震時安定性評価に関する基礎的検討	石丸真 (電力中央研究所)
C15- 410	令和6年能登半島地震に伴う珠洲・輪島東地区の斜面崩壊部の地形的特徴	渡邊祥庸 (長岡技術科学大学大学院)

9月11日(水)

9:00-10:25	C21 <擁壁・土留め>	座長：野本将太 (東日本旅客鉄道)
C21- 266	EPS背面盛土を有するラーメン式橋台の耐震性能評価	中野壮士郎 (春日建設エンジニア)
C21- 291	密な砂地盤中に構築された円形立坑の遠心載荷実験の再現解析における一考察	堀見慎吾 (東北電力)
C21- 305	不飽和層を有する密な砂地盤に埋設された円形立坑模型の遠心載荷実験に関する挙動解析	小松怜史 (横浜国立大学)
C21- 343	遠心力載荷模型実験による岩盤に設置したロックアンカーの地震時挙動	小早川博亮 (電力中央研究所)
C21- 383	2重根入れケーソン式岸壁の根入れ深さと耐震性能の関係に関する基礎的検討	岡久武史 (オリエンタル白石)
C21- 408	矢板式係船岸の地中部変状計測に関する基礎的検討	大矢陽介 (港湾空港技術研究所)

10:40-12:05	C22 <地中構造物>	座長：石丸真 (電力中央研究所)
C22- 254	鉄筋腐食箇所がRC地中構造物の構造性能低下に与える影響の解析的検討	坂下克之 (大成建設)
C22- 255	トンネル横断方向の応答変位法 30年後の追検証	志波由紀夫 (無所属)
C22- 274	支持層に着底する開削トンネルに対する応答変位法の適用性に関する基礎的検討	土井達也 (鉄道総合技術研究所)
C22- 276	開削トンネルの地震時挙動における函体の回転に着目した二次元模型実験	七里蒼 (中央大学大学院)
C22- 311	破碎帯と交差するトンネルの実用的な耐震性能照査手法確立に向けた解析的検討	三橋祐太 (構造計画研究所)
C22- 367	破碎帯と交差するRC構造物の鉄筋径及び鉄筋間隔の影響の数値シミュレーション	園部秀明 (大成建設)

13:15-14:40	C23 <実験技術・解析技術>	座長：大矢陽介 (港湾空港技術研究所)
C23- 256	液状化を伴う地震応答解析における 時間刻みに関する数値計算の安定化の検討	大塚悠一 (東電設計)
C23- 280	土圧計による密な地盤のせん断応力評価	山口和英 (電力中央研究所)
C23- 284	Building Damage Assessment Using Interferometric SAR Coherence Analysis of 2022 M5.6 Earthquake in Cianjur, Indonesia	Arli Ardiandy Nurseramika (JAIST)
C23- 331	ニューラルネットワークモデルを用いた収束計算初期値の予測による計算の高速化の検討	佐々木智大 (大林組)
C23- 359	斜面安定解析のためのstress iso-surfaceの可視化に関する基礎的検討	藤田航平 (東京大学)

第44回地震工学研究発表会プログラム (D会場)

9月10日(火)

13:15-14:40 D13 <ライフライン防災, 災害情報①>		座長: 一井康二 (関西大)
D13- 355	地震時の道路陥没被害の把握における課題	岡本順平 (ジオ・サーチ)
D13- 336	配水管の脆弱性と断水解消の長期化の関連性について	土屋裕 (岐阜大学大学院)
D13- 380	地震時の空気弁被害に影響を与える水道管路内における水圧変化に関する振動実験	銅健吾 (福井工業高等専門学校)
D13- 278	地震起因の地表面変状と埋設管路被害の空間相関特性の解明	岡野莉子 (筑波大学)
D13- 267	転移学習を適用した液化地盤沈下量の予測に向けた検討	苅米和樹 (千葉大学大学院)
D13- 265	罹災証明写真を用いた建物損傷度評価にむけた画像データセットと被害検出モデルの構築	秋葉涼太 (千葉大学大学院)

14:55-16:20 D14 <災害情報②, 防災計画>		座長: 後藤浩之 (京大)
D14- 294	地震時の土砂崩壊箇所の検出に向けた衛星画像の深層学習	原恭也 (千葉大学大学院)
D14- 335	近年の地震を対象とした緊急地震速報による猶予時間と観測震度分布との関係について	熊野颯 (岐阜大学大学院)
D14- 246	防災学習ツール「D_アワタラ」の開発と実践	保田真理 (東北大学)
D14- 258	質的データ分析による災害対応時のナレッジを蓄積する手法の提案	福田勝仁 (北陸先端科学技術大学院大学)
D14- 249	小・中学生を対象とした地震の知識と地震時対応行動の理解との関係分析	野々村敦子 (香川大学)
D14- 251	防災士を交えた一般住民向け防災研修プログラムの在り方の検討	近藤伸也 (宇都宮大学)

16:35-18:00 D15 <震源特性・地震動特性・地震動評価>		座長: 香川敬生 (鳥取大)
D15- 260	Reflective Hamiltonian Monte Carloを用いた複雑な断層すべりのベイズ推定	中尾魁 (東京大学)
D15- 332	地震基盤波形データベースと経験的サイト増幅特性を用いた地震動評価の有効性確認	杉山佑樹 (鉄道総合技術研究所)
D15- 382	2024年能登半島地震の震源モデルの検討	池田隆明 (長岡技術科学大学)
D15- 406	逆断層の動的破壊シミュレーションによる滑り速度の特徴の考察	中辻綾香 (京都大学)
D15- 411	SYNTHESIZING GROUND MOTION USING BAYESIAN OPTIMIZATION IN VARIATIONAL AUTO-ENCODER	Kaiyuan HSU (The University of Tokyo)

9月11日(水)

9:00-10:25 D21 <物理探査・地震強度指標>		座長: 野口竜也 (鳥取大)
D21- 306	GROUND CHARACTERISTICS IN THE NORTHERN KYOTO BASIN USING MICROTREMOR ANALYSIS	LIU Po-Hsiang (Kyoto University)
D21- 381	一般化された空間自己相関法における有効位相速度から高次モードの卓越を識別する試み	木村春里 (東京工業大学)
D21- 324	2023年トルコ・カフラマンマラシュ地震の被害調査に基づく気象庁計測震度の修正案	後藤浩之 (京都大学)
D21- 405	CORRELATION OF DAMAGE-BASED AND INSTRUMENTAL MODIFIED MERCALLI (MM) SEISMIC INTENSITIES DURING THE 2023 KAHRAMANMARAS, TÜRKIYE EARTHQUAKE	Shinichiro MORI (Ehime University)

10:40-12:05 D22 <地盤震動・増幅特性>		座長: 久世益光 (岐阜大)
D22- 309	DEVELOPMENT OF HPC-ENHANCED 3D WAVE PROPAGATION SIMULATION METHOD AND ITS APPLICATION TO SUBSURFACE STRUCTURE ESTIMATION	Stanley Brian Rosete SAYSON (The University of Tokyo)
D22- 250	令和6年能登半島地震による上越地域の被害と地盤震動特性	香川敬生 (鳥取大学)
D22- 259	表層地盤による地震増幅の卓越周期に工学的基盤が与える影響把握のための一考察	坂井公俊 (鉄道総合技術研究所)
D22- 364	PINNsを用いた震源断層近傍の地表地震動の空間補間	福田優二郎 (京都大学)

13:15-14:40 D23 <地震動・計測・観測・解析>		座長: 栗田哲史 (東電設計)
D23- 344	DASを用いた地震時の稠密な地盤ひずみの観測	石田 航 (神戸大学)
D23- 307	道路下既設光ファイバケーブルを用いた交通量計測の試み	藤原麟太郎 (神戸大学)
D23- 401	行列指数関数を用いた時間積分における外力項の簡便な近似法に関する検討	横山最大 (東京工業大学)
D23- 340	A METHOD TO EVALUATE EXTERNAL FORCE TERMS OF TIME INTEGRATION METHOD USING EXPONENTIAL INTEGRATOR	小林剣大 (東京工業大学)
D23- 242	加速度応答スペクトルのガウス過程回帰	栗田哲史 (東電設計)

14:50-16:10 D24 <津波防災>		座長: 郷右近英臣 (北陸先端科学技術大学院大学)
D24- 400	避難開始における論理的判断と直感的判断の関係に関する津波避難シミュレーション	高橋佑介 (関西大学大学院)
D24- 403	南海トラフ地震を想定した大阪梅田地区における津波避難実験	前田結衣 (関西大学)
D24- 397	河川津波発生時の橋梁周辺における氷板群漂流挙動の数値シミュレーション	阿部孝章 (寒地土木研究所)
D24- 346	津波シナリオの不確実性定量化に向けたフレームワークの構築と影響度分析	西愛歩 (東電設計)
D24- 239	流体剛体連成解析手法を用いた重力式防波堤の地震応答解析	高本昌幸 (京都大学大学院)
D24- 329	橋梁基礎部の洗掘に伴う橋桁一添架管路システムの進行性破壊メカニズムの解明	喜古亜佑美 (筑波大学)